

平成29年度

第1回 食育活動表彰

事例集



事例集の発行にあたって

平成28年度から第3次食育推進基本計画がスタートしたことから、農林水産省は、平成28年度に「食育活動表彰」を新たに立ち上げました。従来の食育推進ボランティア表彰よりも表彰の対象者を拡大し、ボランティアのみならず、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰するものです。

表彰対象の活動は、第3次食育推進基本計画の重点課題を中心に

- (1) 若い世代を中心とした食育の推進
- (2) 多様な暮らしに対応した食育の推進
- (3) 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- (4) 食の循環や環境を意識した食育の推進
- (5) 食文化の継承に向けた食育の推進
- (6) その他の食育の推進

としています。

表彰部門には、都道府県、政令指定都市、大学等からの推薦によるボランティア部門と、自薦応募も可能な教育関係者・事業者部門の2部門を設定しています。

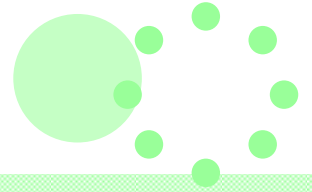
今回は261件の事例の中から、特に優れた取組を行っている6件の個人・団体に対して農林水産大臣賞、優れた取組を行っている13件に対して消費・安全局長賞が授与されました。

受賞者の取組をまとめた本事例集は、地域で様々な食育活動を行っている方々の参考としていただけるよう作成いたしました。皆様の今後の食育活動をより一層充実したものにさせていただくために、ご活用いただければ幸いです。

平成29年6月

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

も く じ



平成29年度第1回食育活動表彰審査委員会 委員	1
第1回食育活動表彰講評	2

受賞団体・個人の取組紹介

ボランティア部門

(食生活改善推進員)

 横川照子	5
 鮭川村食生活改善推進協議会	6
 都留市食生活改善推進員会	7

(大学等)

 食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー〈山口県立大学〉	8
 あぐりちゃれんじ〈北海道教育大学釧路校〉	9
 食品ロス削減サークル〈美作大学〉	10

(食育推進ボランティア)

 NPO法人 霧島食育研究会	11
 きょうと食いく先生	12
 NPO法人 花と緑のネットワークとよなか	13

教育関係者・事業者部門

(教育等関係者)

 熊本県立大学	15
 岸田学園 行田幼稚園	16
 千葉県立桜が丘特別支援学校	17

(農林漁業者等)

 西三河農業協同組合	18
 中部水産株式会社	19
 はあとキッチン	20

(食品製造・販売者等)

 いばらきコープ生活協同組合	21
 株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム	22
 琉球新報社	23

(地方公共団体)

 富士市食育推進会議	24
---	----

平成29年度 第1回食育活動表彰 審査委員会 委員

秋 田 昌 子 元墨田区保健計画課保健計画担当 主査

足 立 己 幸 女子栄養大学名誉教授

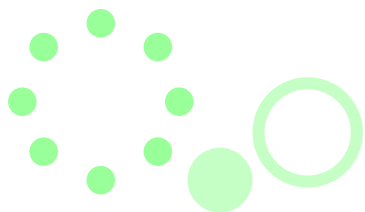
高 田 正 澄 NPO法人ネイチャークラブにいはり 代表

田 村 知 香 子 株式会社共同通信社 情報企画本部企画事業部 次長

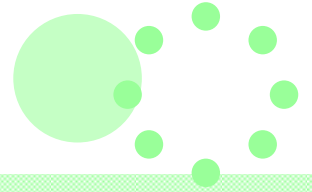
中 嶋 康 博 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授

東 四 柳 祥 子 梅花女子大学 食文化学部食文化学科 准教授

敬称略：50音順



第1回食育活動表彰講評



審査委員長
中嶋 康博

本年度が第1回となる「食育活動表彰」では、全国都道府県等から推薦された261件から、優れた18団体と1個人の食育活動が表彰されたことを、心からお慶び申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点から評価を行いました。

また、

- ①対象活動が第3次食育推進基本計画の5つの重点課題の効果的な解決に資するものであるか、
 - ②活動の方法が団体や地域の特徴を活かしながら、課題の決定、活動の計画・実施・評価、そして次のより良い行動へとつなげていく“着実な手順”を主体的に進めているか、
 - ③その進め方を関係者で共有し、活動のさらなる向上につなげているか、
 - ④活動内容や成果を他へ発信し、仲間を広げているか、
- を重視しました。

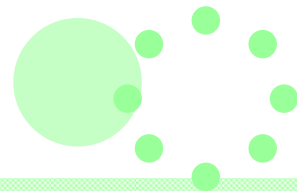
さらに、今回の表彰では、教育機関としての授業プログラム、管理栄養士等の養成機関としての通常作業、また企業自身の本来業務を確認しながら、応募の活動内容が食育の観点から特別に評価できるものであるか等について、審査委員で熟慮を重ねて審査を行いました。

新たな活動としては、「ボランティア部門」（大学等）における美作大学の食品ロス削減サークルや「教育関係者・事業者部門」（食品製造・販売者等）におけるいばらきコープ生活協同組合の子供食堂の運営が注目されました。いずれも、フードドライブ活動や寄贈された食品の活用によって地域での共食の場を提供し、子供たちや高齢者など、地域住民を対象に、栄養改善にとどまらず、食を通じて人と人を繋いでいく活動です。

「食育の環(わ)」の視野や視点、すなわち食物の生産から食べるまで、心身の健康・生きる力・仲間や地域づくり、そして次の生産や社会活動の形成という“地域における食の循環”全体をとらえて、その中に自分たちの活動目的や目標を位置付けています。これらは第3次食育推進基本計画の重点課題としている「多様なくらしに対応した食育」に資するものであり、今後のさらなる広がりが期待されます。

今回、選外となった個人、団体、企業等においても、今後の発展が期待できる興味深い取組や、特徴的な取組が数多くありました。表彰された取組を参考にしながら、今後もさらなる食育活動を推進し、来年度もご応募いただければと思います。この表彰が国民や社会への食育の推進の大きな契機になることを祈念いたします。

第1回食育活動表彰 表彰式写真



第12回食育推進全国大会 in おかやま 平成29年度 第1回食育活動表彰 平成29年6月30日